

## 2016年度事業 協力事業者募集のお知らせ

弊財団の2016年度事業の協力事業者の募集を行います。

下記(1)～(4)の4種類の分野でご協力頂ける方は、2016年3月7日(月)までに、弊財団宛ご連絡を下さい。

(Tel043-212-6023、FAX 043-212-6461 Eメール: [lp@aeon.info](mailto:lp@aeon.info))

ご連絡を頂いた事業者を対象に、3月10日(木)午前10時より、弊財団本部にてご説明申しあげますので、ご参加下さい。

対象事業の種類：実施日、期間に「月」の表示がない場合は、直前の表記月と同月です。

### (1)交流・視察事業等における移動手段、宿泊施設、及び交流・視察に付随する活動手配

- 1、2016年4月～10月 福島キッズ 森へ行こうプロジェクト  
福島県内の原発避難地域に居住していた子どもたちを信州、宮城の自然林に招待しメンタルケアを実施。1回40名+引率者、夏休み及び、祝日を絡めた週末で2泊3日。計10回実施。
- 2、2016年4月26日～29日 G7ジュニアサミット東京プログラム  
26日名古屋発、29日成田(又は羽田)空港着までの交流プログラム。  
7カ国28名と東京での交流学生28名、引率者計、約70名が参加。
- 3、2016年7月11日～19日 日本・中国高校生交流 in 日本  
北京市(30名)、武漢市、青島市(各20名)計70名の高校生と引率者計約85名を日本に招聘。東京(北京市)、東京・大分(武漢市)、東京・札幌(青島市)にて交流。(本年10月には、中国プログラムを実施)
- 4、2016年7月27日～同30日 イオンチアーズクラブ全国大会 in 沖縄  
東日本各地の小中学生120名前後と引率者計160名前後が参加
- 5、2016年8月3日～同6日 イオンチアーズクラブ全国大会 in 北海道  
西日本各地の小中学生120名前後と引率者計160名前後が参加
- 6、2016年8月上旬 日本語スピーチコンテスト上位入賞者の中国大学生日本視察  
中国の各都市(北京、青島、天津、深圳)から参加。4泊5日、25～30名。
- 7、2016年8月21日～27日 アジアユースリーダーズ  
日本(東京20名、札幌5名、名古屋5名、引率者計35名)、中国(天津市より計22名)、ベトナム、マレーシア、インドネシア各17名、計108名がタイ・バンコクに終結し、タイ学生20名と交流。
- 8、2016年10月9日～17日 日本・中国高校生交流 in 中国  
東京・千葉(30名)、大分市、札幌市(各20名)計70名の高校生と引率者計約80名を中国に派遣。(7月の同事業の中国版)

- 9、2016年10月31日～11月7日 日本・ミャンマー高校生交流 in ミャンマー-  
北海道登別の高校生20名と引率者計約25名をミャンマーに派遣。ヤンゴン市の高校生と交流。期間中、ネピドー市訪問あり。
- 10、2017年1月16日～23日 日本・ベトナム高校生交流 in 日本-  
ホーチミン市の高校生20名、引率者計約25名と、三重県四日市市の高校生20名と引率者計約25名が、東京、四日市で交流。
- 11、2017年2月6日～13日 日本・ミャンマー高校生交流 in 日本-  
ヤンゴン市の高校生20名、引率者計約25名と、北海道登別の高校生20名と引率者計約25名が、東京、登別で交流。(10月の同事業のミャンマー版)
- 12、2017年3月13日～20日 日本・ベトナム高校生交流 in ベトナム-  
北海道登別の高校生20名と引率者計約25名をベトナムに派遣。ホーチミン市の高校生と交流。(1月の同事業のベトナム版)
- 13、2017年3月下旬 ネパール・ミャンマー学校開校式ツアー  
日本全国から応募のあった一般市民及び弊財団関係者の 同国で弊財団が建設支援した学校の開校式への参加
- 14、2017年3月下旬、又は4月上旬 中学生作文コンクール 屋久島研修  
日本全国の中学生40名、引率者計50名が屋久島にて3泊4日の研修。  
宿泊施設、プログラム費用は含まず。

(2)全国募金協力事業者：全国募金実施事業における募金箱設置をお願いできる事業者

同事業に際し、寄附付き商品の販売、展開をお願いできる事業者

- 1、2016年4月2日～同年5月29日：ミャンマー学校建設支援募金  
同国ヤンゴン市及びカレン州で小学校の建設支援
- 2、2016年11月5日～同年12月4日：アジア障害者 就学就労支援募金  
ラオス、カンボジア、ミャンマーを中心し、身体的障害が原因で学校に行けない、又は働く機会に恵まれない青少年を支援
- 3、2017年2月11日～同年3月12日：障がい者ものづくり応援募金  
東日本大震災で被害を受けた障がい者がものづくりを行っている施設(授産施設)の設備更新、販路拡大支援

(3)伝統的な文化・工芸・技術の普及啓蒙事業、盛り上げ事業協力事業者

日本各地の「次代に引き継がれるべく」文化・工芸・技術の普及啓蒙、継承の為に開催地での交渉代行、実施場所・協力人員の無償提供、イベント参加者(弊財団ユニフォーム着用をお願いする場合あり)の募集、等お願いできる事業者。

(4)イオン チアーズクラブ活動、イオン すくすくラボ事業の協力事業者

全国の小中学生の居住地近隣でのエコ活動、子育てセミナー及び童謡継承事業の運営協力事業者。弊財団の活動方針の下、参加者の募集、日頃の活動への協力等をお願いできる事業者。

以上